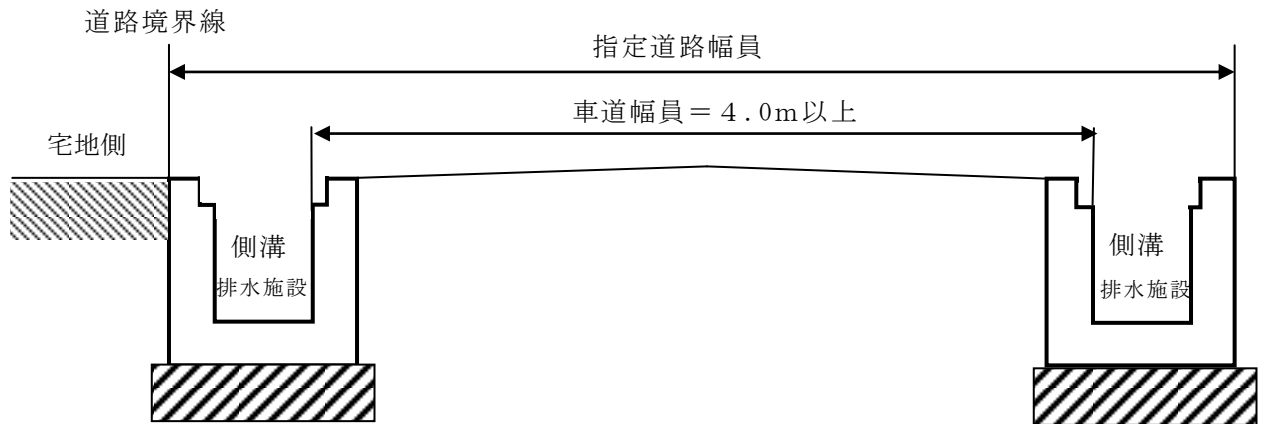


別図第1（第7条関係）

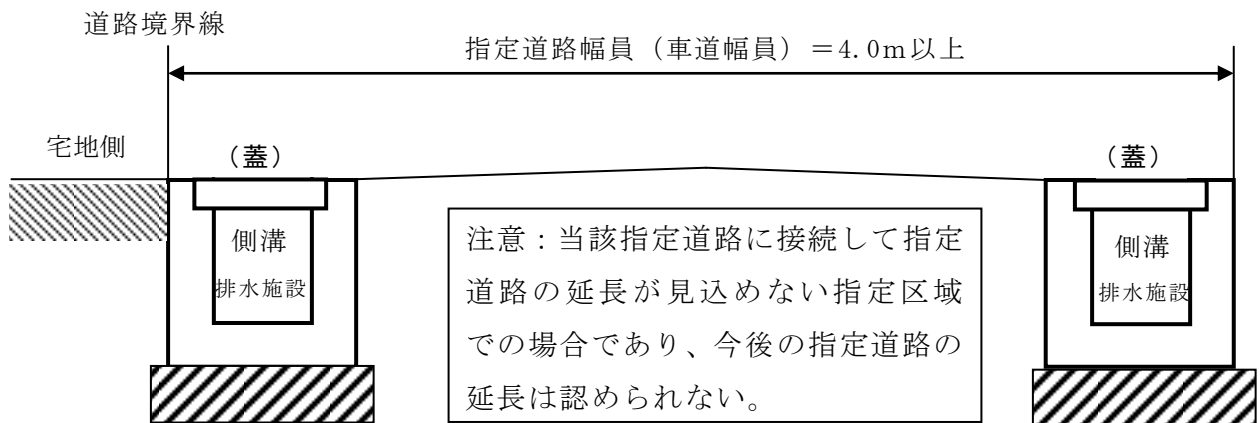
車道幅員は、下図のとおり4m以上とする。

道路側溝等は、道路およびこれに接する敷地の排水に必要な機能を持ち、開渠等側溝の維持管理が容易にできる構造とすること。なお、蓋を設ける場合はT-25ton以上とし、5mごとにグレーチング蓋とすること。



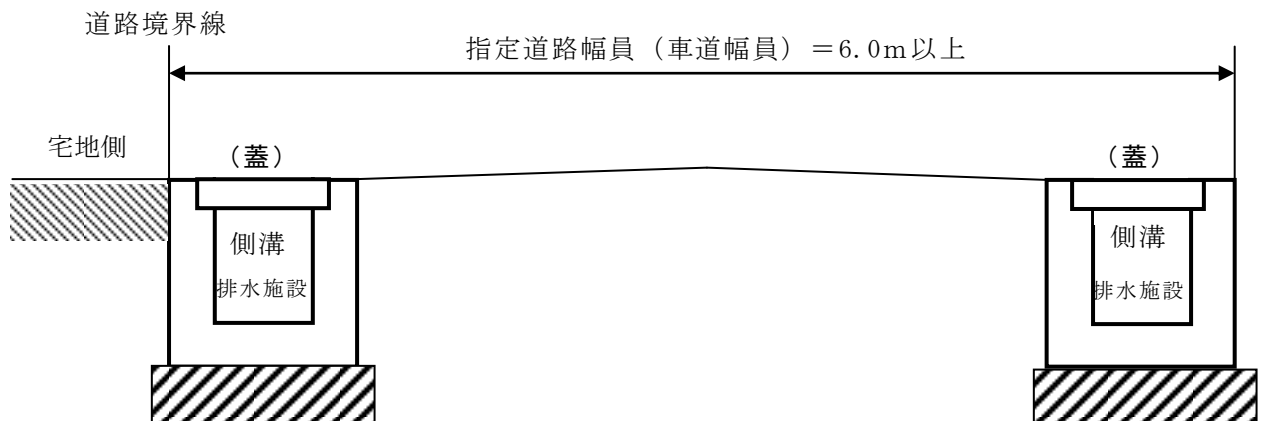
別図第1-1（第7条関係）

開発可能地がない場合



別図第1-2（第7条関係）

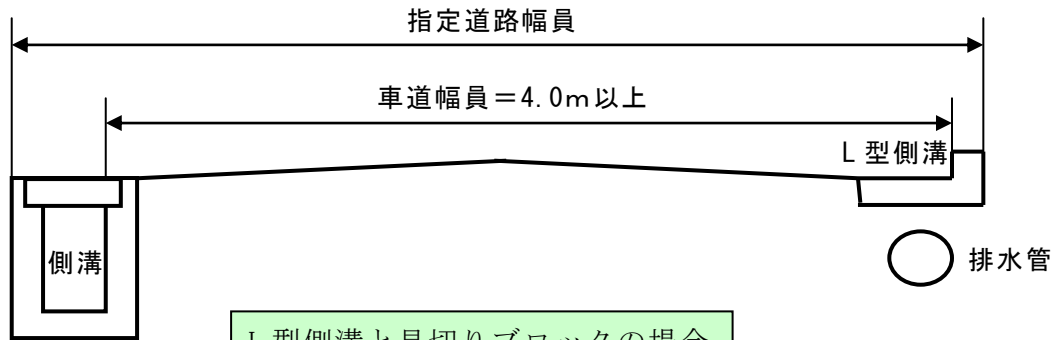
指定道路幅員が6m以上の場合



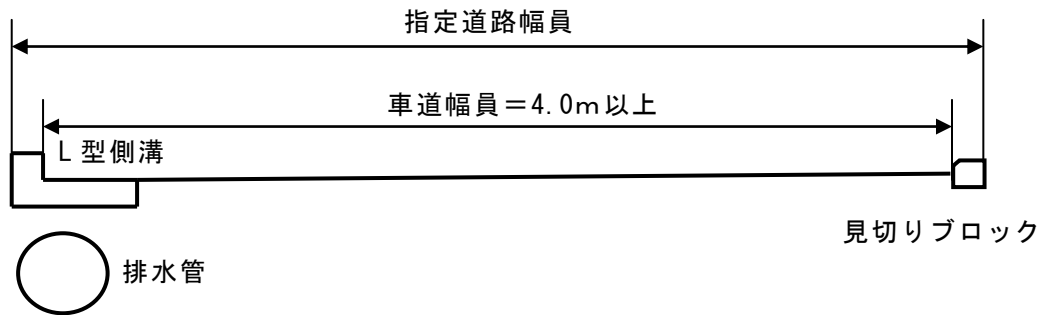
参考

車道幅員のとらえ方

側溝（有蓋）とL型側溝の場合

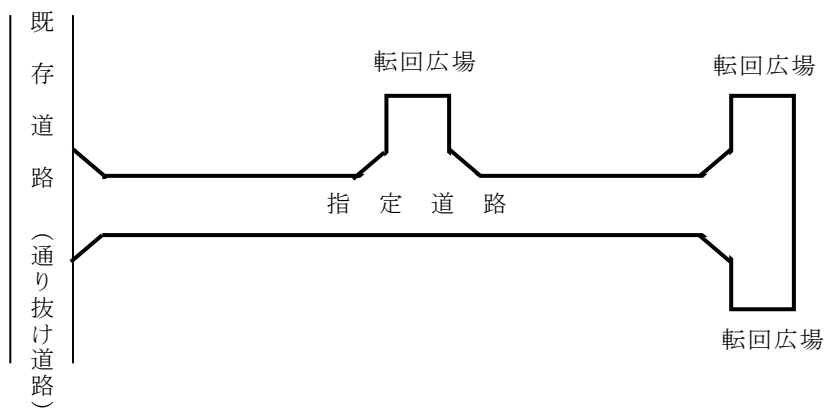


L型側溝と見切りブロックの場合



別図第2（第7条、第9条関係）

袋路状道路の形状の例

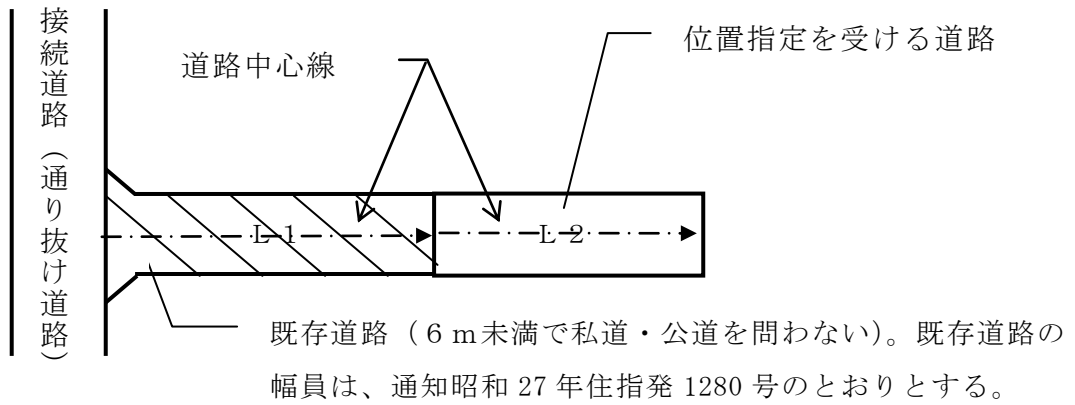




2 転回広場の必要がない場合で既存道路から増設をする場合（延長が 35m を超えない場合）

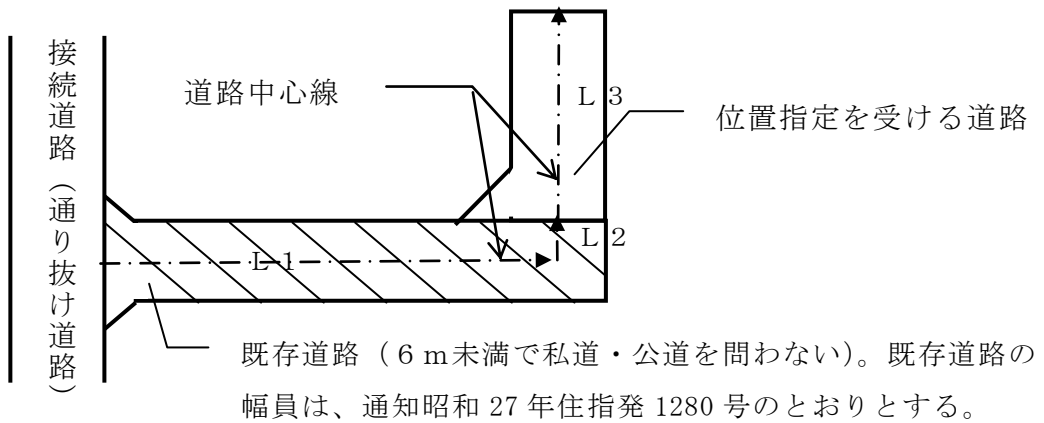
(1)

令第 144 条の 4 第 1 項第 1 号イの延長 =  $L1 + L2 \leq 35m$

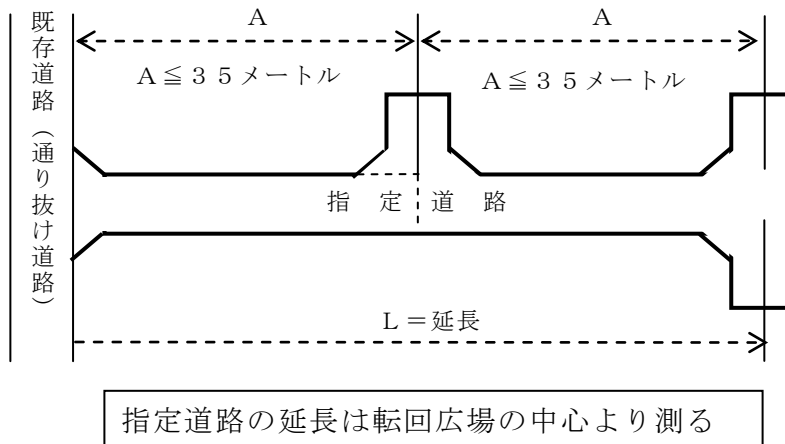


(2)

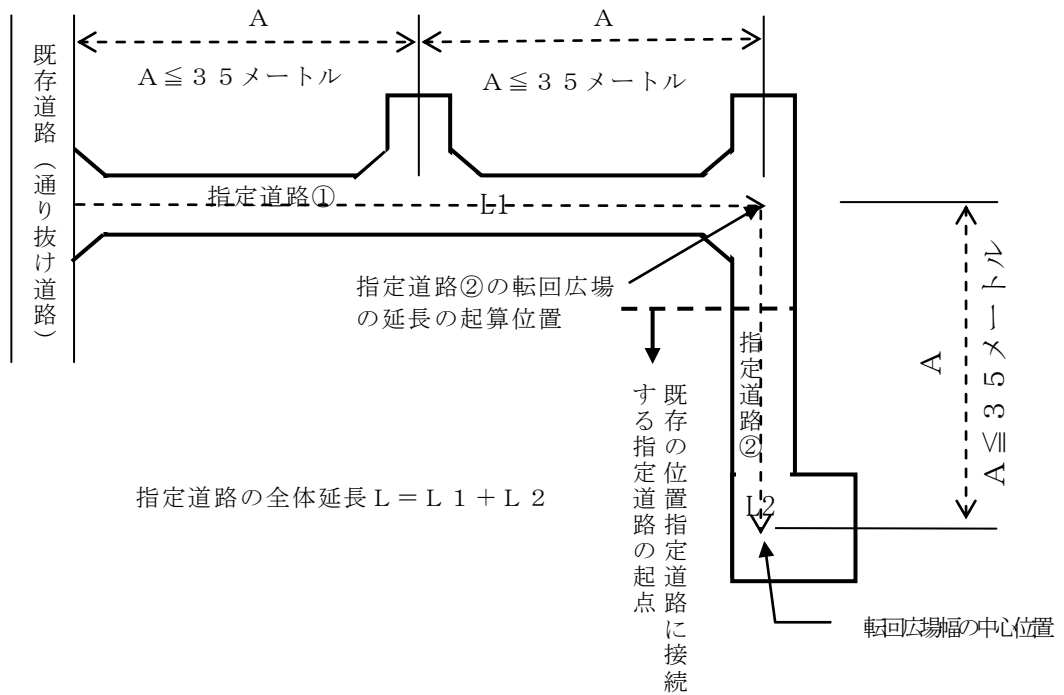
令第 144 条の 4 第 1 項第 1 号イの延長 =  $L1 + L2 + L3 \leq 35m$



2 転回広場が必要な場合



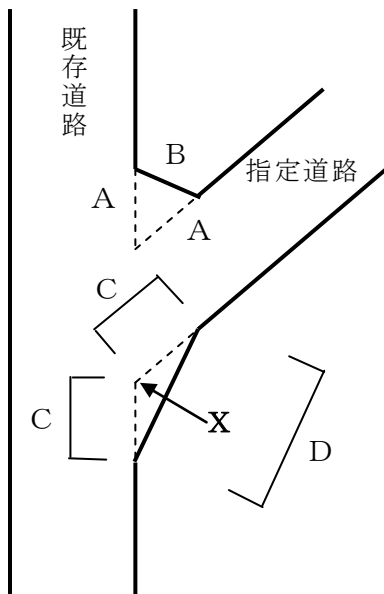
### 3 転回広場が必要な場合



別図第6（第8条関係）

#### すみ切りの基準

##### 1 既存道路と指定道路との交差角度によるすみ切り長さ



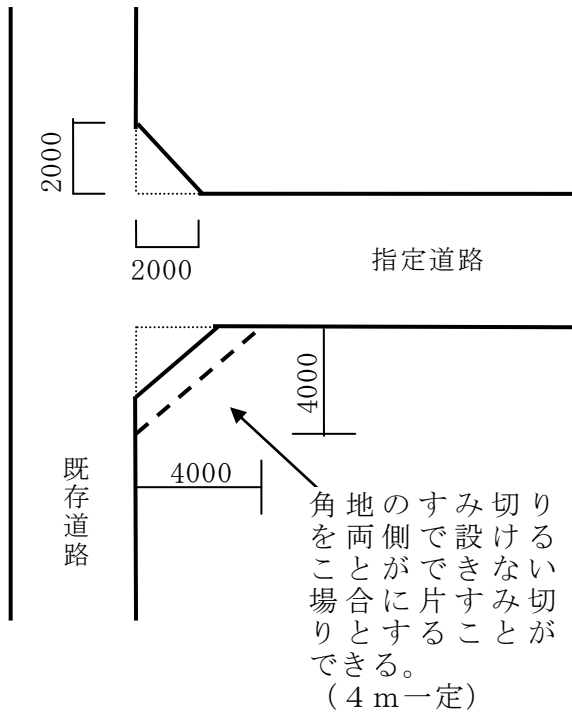
道路幅員4メートルの場合

単位:メートル

Xの角度	Aの長さ	Bの長さ	Cの長さ	Dの長さ
120° 以上	—	3.000	すみ切り不要	
110°	—	3.000	2.000	—
100°	—	3.000	2.000	—
90°	2.000	2.828	2.000	2.828
80°	2.000	—	—	3.000
70°	2.000	—	—	3.000
60° 以下	すみ切り不要		—	3.000

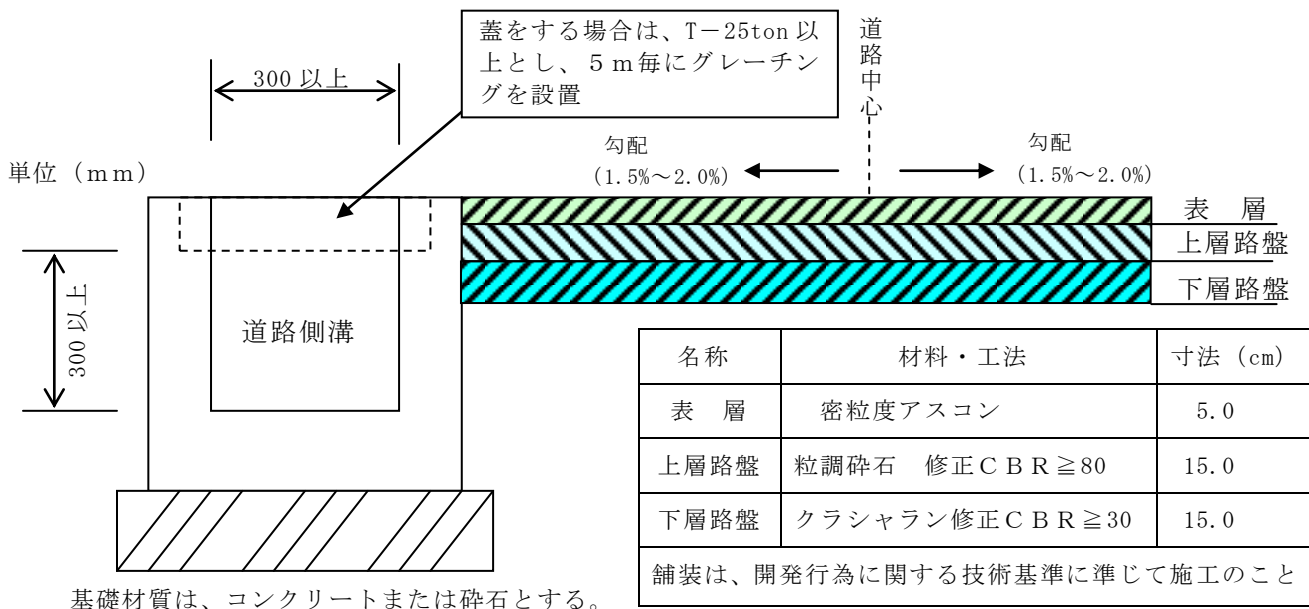
B（またはD）を底辺とする二等辺三角形となるように築造すること  
 なお、表示角度以外の角度の場合は、長さが長い方の値を取る。

2 既存道路と指定道路の交差部のすみ切り長さ



交差部のすみ切り長さ 単位：m						
既存道路	8m	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
	7m	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
	6m	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
	5m	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
	4m	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
		4m	5m	6m	7m	8m
指定道路の道路幅員						

別図第7 (第9条関係)



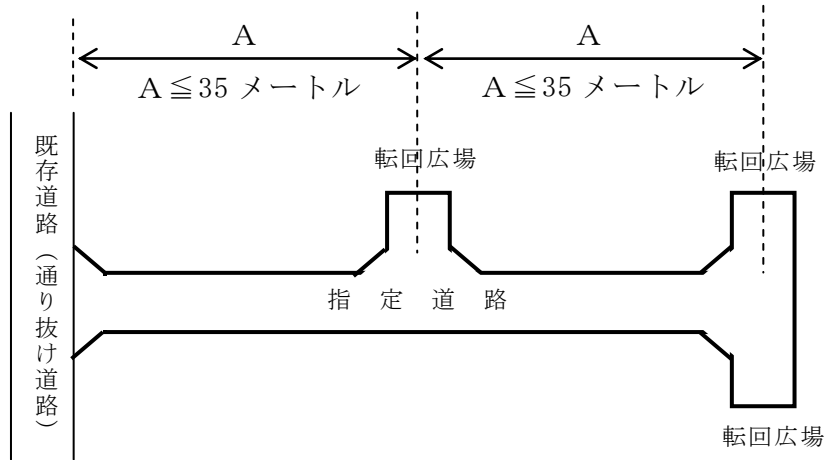
・側溝蓋は、T-25ton とし 5m ごとにグレーチング蓋 (細目タイプ、滑止め、ゴム付き) とすること。

・横断溝は、横断タイプ (グレーチング「T-25ton、固定式、細目タイプ、滑止め、ゴム付き」) または重圧管 (径 300φ以上) とすること。

側溝は、現場打ちの場合は国土交通省制定の「土木構造物標準設計」に基づき、指定道路の両側に設けるものとし、工場製品を用いる場合は、可変側溝またはU型タイプとする。ただし、現場に即応しない場合、これらに代わる排水能力を有するものを設置しようとする場合は別途協議するものとする。

別図第8（第9条関係）

- 1 指定道路が袋路状道路である場合は、以下の要領で転回広場を築造するものとする。

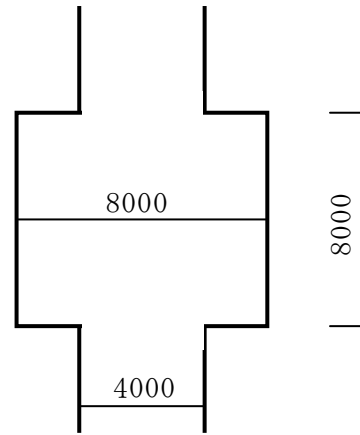
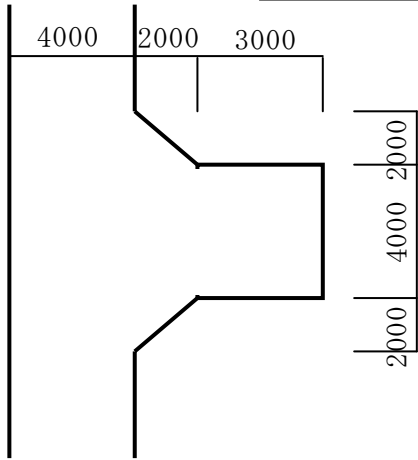


転回広場の形状

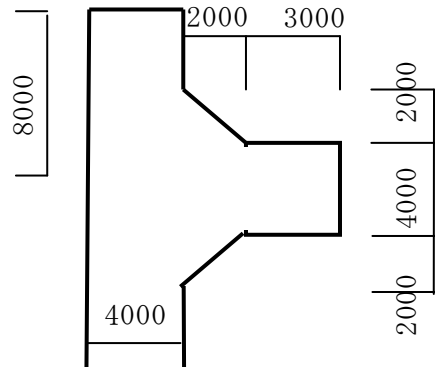
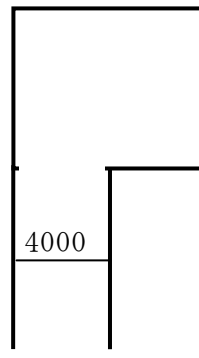
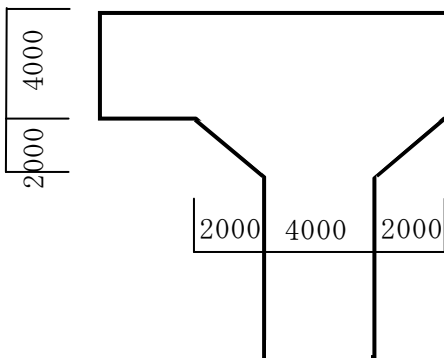
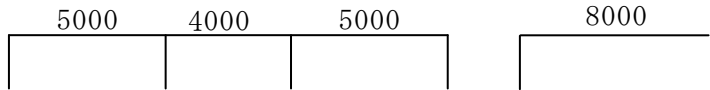
単位：mm（側溝開渠部は含まず）

中間部分

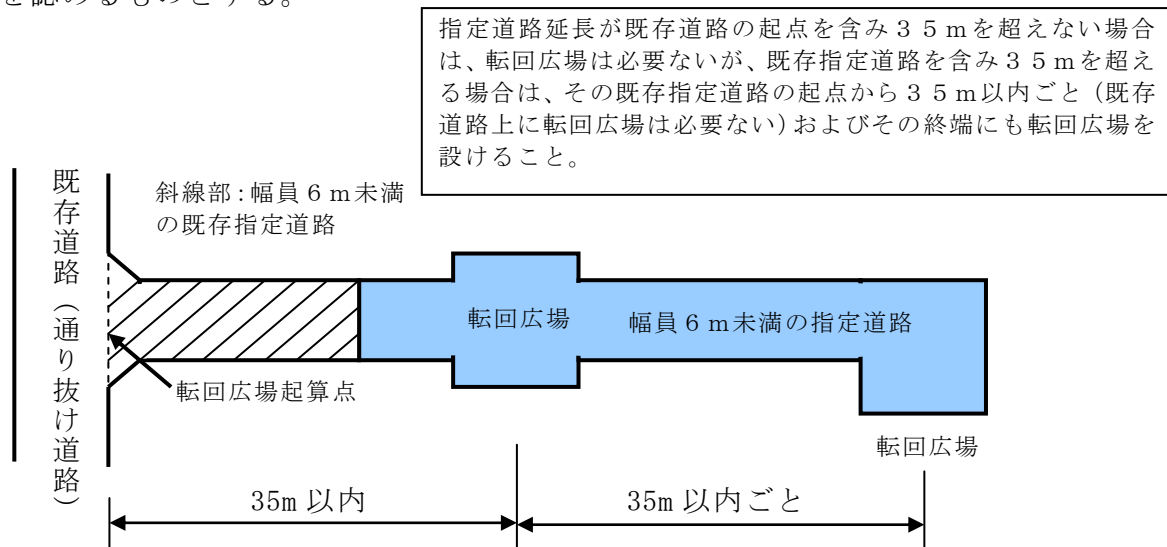
転回広場が8m以上の場合及び別図1-1の場合は蓋（T-25ton）を設け側溝を含めた寸法とする。



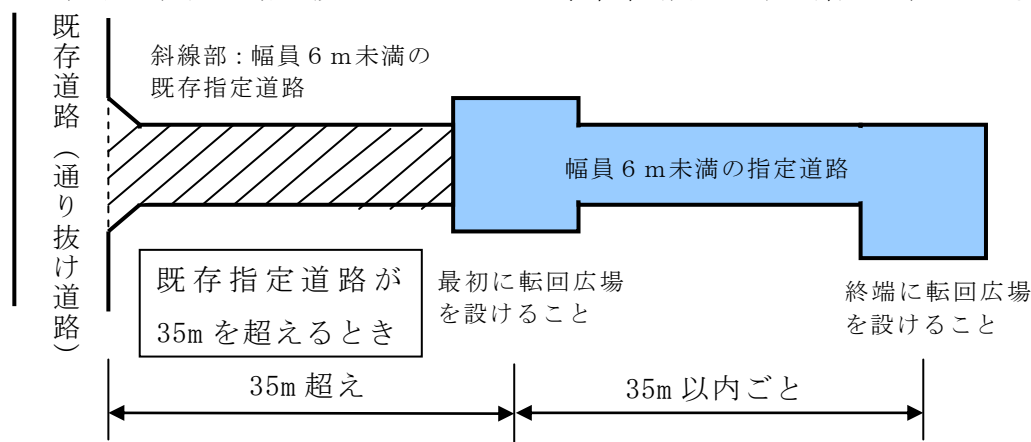
終点部分



- 2 指定道路が既存道路（建築基準法施行令第144条の4第1項第1号の規定が適用される以前に築造された位置指定の道路）に接続する場合で、その道路が35メートルを超えていない時、新たに築造しようとする道路の転回広場については、既存道路の起点からの延長を含み、施行令の規定どおりの転回広場を設けることにより、位置指定道路の築造を認めるものとする。



- 3 指定道路が既存道路（同上）に接続する場合で、その道路が35メートルを超えている時、新たに築造しようとする道路の転回広場については、その築造道路の開始部およびその終端に転回広場を設けることにより、位置指定道路の築造を認めるものとする。



別図第9（第10条関係）

